

最優秀賞

海田町 『広報かいた』 (令和4年 12月号)



- 発行部数(年間発行回数): 14,000部(12回)
- 担当課: 企画部企画課
- 連絡先: 082-823-9212

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

巻頭企画の「今をときめくまちのあの人に会いに行く」は本町にゆかりのある人を毎月紹介する企画である。昨年度から続く企画ではあるが、今年度は対象者の活動内容や思いを通して、町民の皆さんに新しい発見をしてもらえるような方々の取材を行った。広報紙を行政からのお知らせと位置付けるだけでなく、この企画を通して、新たな町の魅力を発見してほしい。

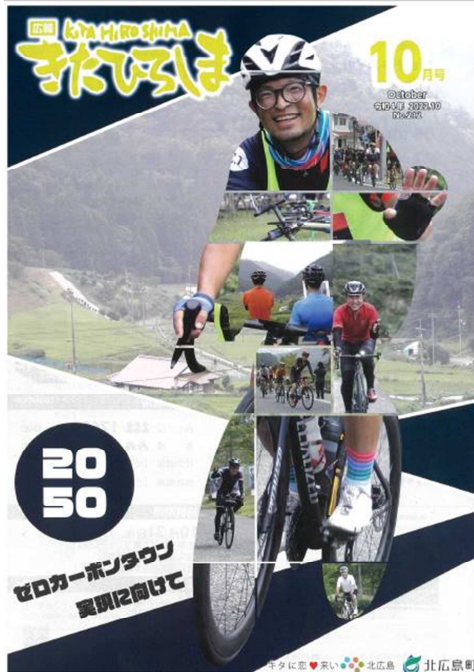
＝講評＝

- 昨年度も同企画があったが、ひとりのひとではなく、高校の家政科のあるチームを取材するという企画が新鮮だ。表紙、扉、本文までページもしっかりゆとりをもってとってあり見ごたえがある。個人の目線を大切にしているところがよい。
- 「まちのあの人に会いに行く」では郷土料理をテーマにして地元の高校生を採用しているのも、非常に親しみが持てるし、海田さつまについて興味が沸いた。どの文章が誰のコメントかを視覚的に分かりやすくするとより良くなるだろう。
- 読みやすくまとめられており、長文でも気にならずに読むことができる。
- 各コーナーとも文章が長くないように工夫されている。
- すっきりしたデザインで、横書きに統一されているため、全体的に読みやすい。



優秀賞

北広島町 『広報きたひろしま』（令和4年10月号）



- 発行部数(年間発行回数): 8,000部(12回)
- 担当課: 総務課情報電算係
- 連絡先: 050-5812-1850

【担当者より(主な記事の掲載意図)】
 世界的に環境保護の必要性が叫ばれるなか、今年の8月に「北広島町ゼロカーボンタウン宣言」をしました。まずは宣言したことを知ってもらうこと、「今」取り組むことの大切さを町内のデータを用いて伝えることを意識しました。そして、知って終わりではなく、行動につながるような身近なところで実践できる取組を紹介し、環境問題に取り組むきっかけとなるような心がけました。また、翌月発行の11月号からは環境問題に関する連載記事「かえてeco(かえてこ)」をスタートし、継続的にアプローチしています。

＝講評＝

- 後半の「さっそくやってみよう」などのコラムや、用語解説はとてもよい。「何をやったらいいの？」に答えてくれる締め方となっている。
- 北広島だから実感できる（雪が降らないなど）ことがあり、その観点からカーボンニュートラルに取り組むことを町民に知らせる企画は有意義な事と感じた。
- 町民に向けて具体的に落とし込んだ情報になっており、「読んでおかななくては」と思わせる内容となっている。
- わかりやすくまとまっている。
- 文章量としては適切で読みやすい。
- カレンダーがついていてお役立ち情報が集約されているところがすごくよい。